

未婚層は車の自己所有率4割未満

ジーコム

市場調査、マーケティングなどを手掛ける(株)ジーコム(福岡市博多区古門戸町、村上隆英社長)の福岡県居住者の暮らしに関する調査で、未婚層の自家用車の自己所有率が4割未満であることがわかった。

調査は福岡県在住の20歳以上の男女700人を対象にインターネットで実施し、男女別、世代別で構成。自家用車の自己所有率は、未婚層が38.1%、既婚で小学生以下の子どもがいる層が57.0%、既婚で中学生以上の子どもがいる層が63.6%と高くなっている。増やしたい時間では「趣味にかける時間」が44.6%で最も高く、「睡眠時間」の44.3%も大きな割合を占めた。また、個人で自由に使える毎月の小遣いは「1~2万円未満」の23.9%、「2~3万円未満」の20.3%、「3~5万円未満」の16.7%と続き、平均額は約2万8000円となっている。

調査レポートは全5ページで、同社では社員派遣による同調査

結果レポートの説明も実施している。